

自然スクール トエック 自由な学校

徳島県阿南市にあるNPO法人自然スクールトエックは、田んぼと畑に囲まれた幼児フリースクールと「自由な学校」というオルタナティブスクールを運営している。ここでは一般的な学校のような時間割はなく、教科書を開いて授業も行わない。今日1日をどう過ごすのか、自分で決め、自分で1日をデザインする学校だ。その「やりたいこと」に耳を傾けてサポートをするスタッフや仲間たちと自由な時間を過ごす。鬼ごっこや缶蹴り、キャンプ、縫い物、読書など。めいっぱい楽しむその遊びの中で、自分たちなりの学びを深めてゆく場所。



「私が居た場所」を知るために、カメラを持って通った2年間。

「鬼ごっこする人〜!」裸足でかけまわる大きな声が田んぼに響き渡ることは、私の母校「自然スクールトエック」。「トエック(自由な学校)の卒業生なんだよね?」と話しかけられる度に、他の卒業生の仲間のように幼稚園から小学校卒業までの9年間ずっとトエックで過ごしたわけではなく、週3日は公立の小学校に通い、残りの2日をトエックに通っていた私は「トエックの卒業生だ」とうまく答えることができなかった。卒業して数年経った今、仲間たちは当時を振り返りどんなことを考えているのか知りたくなった。そして、トエックとはどんな思いで運営している場所なのか、どんなことを大切にしているのか、知らずに通っていたことにも気づいた。そうして、カメラを持ってトエックに通い、2年間、その日常風景に目を向けた。トエック代表やスタッフ、「自由な学校」の6年生、6年生の親御さん、「自由な学校」の卒業生たち、さまざまな目線からトエックの声を記録した。



「観るんじゃなくて、友人の声に耳を傾けるように、聴くように観てくれたら嬉しいです。」

齋藤千夏

「カメラを置いて水鬼しようよ〜!」私はカメラを止め子供たちと走る。そんな連続だった撮影期間。私がカメラを持ってその場にいることは風景の一部になっていた。だからこそ撮ることができた瞬間とどうしてもカメラを向けられなかった場面がある。そんな私に真っ直ぐ向き合い紡ぎ出してくれた、彼らの一言一言を大切にしたい。



「信頼は語りあうことからはじまるのかも…」(ふな)

「“どんな場においても心は自由”という言葉を変えて大切にしたいと思ったし、この映画自体が自由だな、トエックそのものを表現しているな、と感じました」(ぼちゃこ)

「人はいつから自由って難しいと感じるんだろう。なんでそうなるんだろう。絶対正解はないけど、教育って学校ってなんだろう。そんなことを考えさせられました」(あさい)

「息子を通わせたいと思っていたけど、実は自分に必要なんだと実感しました」(無記名)

「教育や子育てについて自分自身の価値観と向き合う時間になりました」(タカ)

● 観客のコメント



映画「自由な学校」 <https://jiyunagakko-film.studio.site/>



f jiyunagakko.film @ jiyunagakko_film

| 上映会に関するお問い合わせ | jiyunagakko.film@gmail.com